

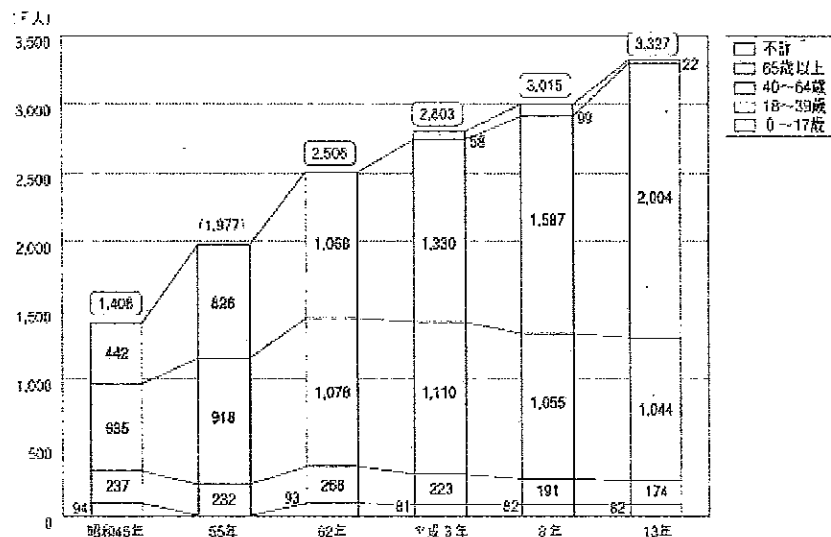
障害者（児）の状況等について

平成18年5月
社会・援護局障害保健福祉部

身体障害児・者の状況

身体障害者(在宅)の状況

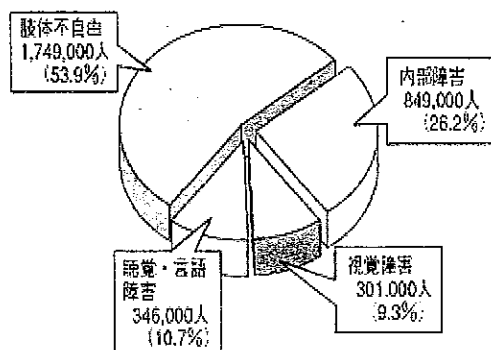
年齢階級別にみた身体障害児・者数の年次推移



(注) 昭和55年は身体障害児(0~17歳)に係る調査を行っていない。

資料:厚生労働省「身体障害児・者実態調査」

障害の種類別にみた身体障害者数(総数:3,245,000人)



資料:厚生労働省「身体障害児・者実態調査」(平成13年度)

障害の種類別・性別にみた身体障害者の状況

(単位:千人,%)

障害の種類	総数	性別		
		男	女	不詳
総数	3,245 (100.0)	1,779 (54.8)	1,423 (43.9)	44 (1.4)
視覚障害	301 (100.0)	154 (51.2)	142 (47.2)	5 (1.7)
聴覚・言語障害	346 (100.0)	164 (47.4)	176 (50.9)	6 (1.7)
聴覚障害	305 (100.0)	135 (44.3)	165 (54.1)	5 (1.6)
平衡機能障害	7 (100.0)	3 (42.9)	4 (57.1)	— (—)
音声・言語・そしゃく機能障害	34 (100.0)	26 (76.5)	6 (17.6)	1 (2.9)
肢体不自由	1,749 (100.0)	940 (53.7)	787 (45.0)	22 (1.3)
上肢切断	98 (100.0)	72 (73.5)	24 (24.5)	2 (2.0)
上肢機能障害	479 (100.0)	287 (59.9)	186 (38.8)	6 (1.3)
下肢切断	49 (100.0)	34 (69.4)	15 (30.6)	— (—)
下肢機能障害	563 (100.0)	247 (43.9)	310 (55.1)	6 (1.1)
体幹機能障害	167 (100.0)	96 (57.5)	68 (40.7)	2 (1.2)
脳原性全身性運動機能障害	60 (100.0)	32 (53.3)	27 (45.0)	1 (1.7)
全身性運動機能障害(多肢及び体幹)	333 (100.0)	172 (51.7)	157 (47.1)	3 (0.9)
内部障害	849 (100.0)	521 (61.4)	318 (37.5)	11 (1.3)
心臓機能障害	463 (100.0)	269 (58.1)	188 (40.6)	6 (1.3)
呼吸器機能障害	89 (100.0)	63 (70.8)	24 (27.0)	2 (2.2)
じん臓機能障害	202 (100.0)	128 (63.4)	73 (36.1)	1 (0.5)
ぼうこう・直腸機能障害	91 (100.0)	58 (63.7)	31 (34.1)	1 (1.1)
小腸機能障害	3 (100.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	— (—)
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	— (—)
重複障害(再掲)	175 (100.0)	107 (61.1)	66 (37.7)	2 (1.1)

(注) ()内は構成比

資料:厚生労働省「身体障害児・者実態調査」(平成13年度)

障害の種類別・障害の程度別にみた身体障害者数

(単位：千人、%)

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不明
総数	3,245 (100.0)	850 (26.2)	614 (18.9)	602 (18.6)	660 (20.3)	260 (8.0)	216 (6.7)	45 (1.4)
視覚障害	301 (100.0)	105 (34.9)	74 (24.6)	27 (9.0)	28 (9.3)	34 (11.3)	32 (10.6)	1 (0.3)
聴覚・言語 障害	346 (100.0)	1 (0.3)	88 (25.4)	70 (20.2)	64 (18.5)	5 (1.4)	101 (29.2)	17 (4.9)
肢体不自由	1,749 (100.0)	243 (13.9)	445 (25.4)	341 (19.5)	397 (22.7)	221 (12.6)	83 (4.7)	19 (1.1)
内部障害	849 (100.0)	501 (59.0)	6 (0.7)	165 (19.4)	170 (20.0)	- (-)	- (-)	7 (0.8)
重複障害(再掲)	175 (100.0)	88 (50.3)	47 (26.9)	22 (12.6)	8 (4.6)	4 (2.3)	1 (0.6)	6 (3.4)

(注) () 内は構成比

資料：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」(平成13年)

障害の種類別・障害の原因別にみた身体障害者数

(単位：千人、%)

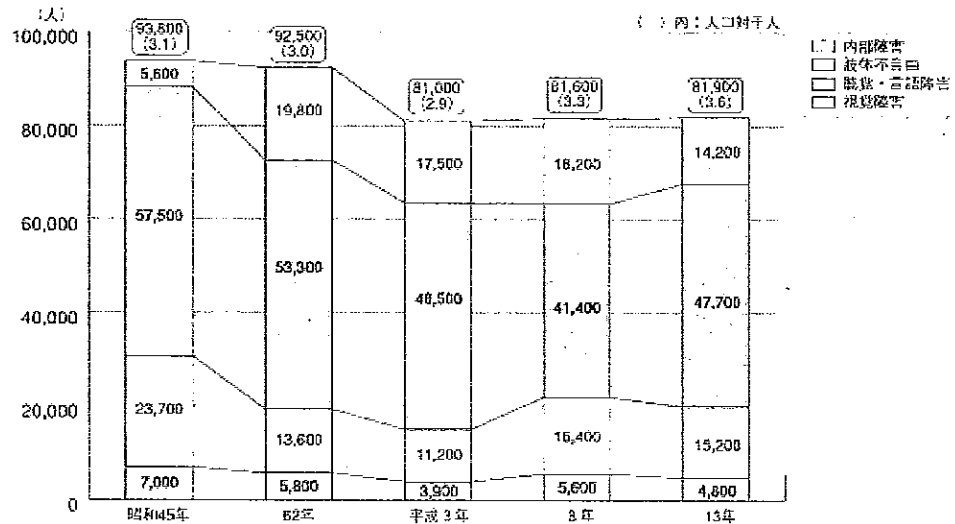
	総数	事 故					疾 病				出生時 の損傷	加齢	その他	不明	不詳
		交通 事故	労働 災害	その他 の事故	戦傷病 災	小計	感染症	中毒性 疾患	その他 の疾患	小計					
総数	3,245 (100.0)	144 (4.4)	204 (6.3)	150 (4.6)	55 (1.7)	553 (17.0)	76 (2.3)	13 (0.4)	700 (23.4)	849 (26.2)	145 (4.5)	154 (4.7)	349 (10.8)	461 (14.2)	734 (22.6)
視覚障害	301 (100.0)	6 (2.0)	10 (3.3)	13 (4.3)	4 (1.3)	33 (11.0)	3 (1.0)	2 (0.7)	72 (23.9)	77 (25.6)	16 (5.3)	14 (4.7)	47 (15.6)	58 (19.3)	37 (18.9)
聴覚・言語 障害	346 (100.0)	6 (1.7)	13 (3.8)	11 (2.6)	7 (2.0)	35 (10.1)	6 (1.7)	2 (0.6)	37 (16.5)	65 (18.8)	24 (6.9)	27 (7.8)	45 (13.0)	60 (17.3)	91 (26.3)
肢体不自由	1,749 (100.0)	131 (7.5)	164 (9.4)	126 (7.2)	39 (2.2)	460 (26.3)	47 (2.7)	6 (0.3)	421 (24.1)	474 (27.1)	91 (5.2)	70 (4.0)	149 (8.5)	173 (9.9)	332 (19.0)
内部障害	849 (100.0)	3 (0.4)	17 (2.0)	3 (0.4)	6 (0.7)	27 (3.2)	19 (2.2)	3 (0.4)	211 (24.9)	233 (27.4)	14 (1.6)	44 (5.2)	106 (12.7)	170 (20.0)	253 (29.8)
重複障害 (再掲)	175 (100.0)	6 (3.4)	10 (5.7)	6 (3.4)	5 (2.9)	27 (15.4)	4 (2.3)	2 (1.1)	31 (23.1)	37 (32.6)	9 (5.1)	11 (6.3)	12 (6.9)	18 (10.3)	40 (22.9)

(注) () 内は構成比

資料：厚生労働省「身体障害児・者実態調査」(平成13年)

身体障害児(在宅)の状況

障害の種類別にみた身体障害児数の年次推移



資料: 厚生労働省「身体障害児・者実態調査」

障害の原因別にみた身体障害児数

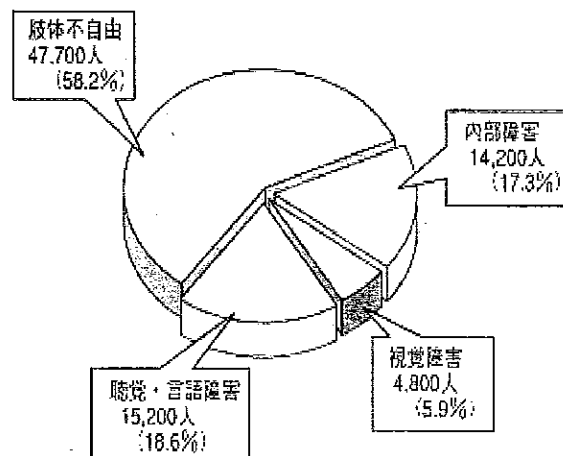
(単位: 人, %)

総数	事 故			疾 病			出生時の損傷	その他	不明	不詳
	交通事故	その他の事故	小計	感染症	中毒性疾患	その他の疾患				
81,900 (100.0)	1,000 (1.2)	1,000 (1.2)	2,000 (2.4)	2,400 (2.9)	500 (0.6)	9,200 (11.2)	12,100 (14.8)	14,200 (17.3)	30,800 (37.6)	9,200 (11.2)

(注) ()内は構成比

資料: 厚生労働省「身体障害児・者実態調査」(平成13年)

障害の種類別にみた身体障害児数(総数: 81,900人)



資料: 厚生労働省「身体障害児・者実態調査」(平成13年)

障害の程度別にみた身体障害児数

(単位: 人, %)

総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不明
81,900 (100.0)	31,100 (38.0)	21,200 (25.9)	11,800 (14.4)	7,700 (9.4)	2,400 (2.9)	4,600 (5.6)	3,100 (3.8)

(注) ()内は構成比

資料: 厚生労働省「身体障害児・者実態調査」(平成13年)

身体障害者(施設在所者)の状況

施設の種別別にみた身体障害者数

(単位：人)

	施設種別	18歳以上
1	身体障害者更生援護施設	42,509
	肢体不自由者更生施設	805
	視覚障害者更生施設	920
	聴覚・言語障害者更生施設	99
	内部障害者更生施設	308
	身体障害者療護施設	22,615
	重度身体障害者更生援護施設	4,339
	身体障害者福祉ホーム	495
	身体障害者授産施設	3,415
	重度身体障害者授産施設	8,149
	身体障害者福祉工場	1,364
	2	盲児施設
3	ろうあ児施設	27
4	肢体不自由児施設	348
5	肢体不自由児療護施設	126
6	重症心身障害児施設	7,951
7	保護施設	3,875
8	老人福祉施設	96,699
	特別養護老人ホーム	78,169
	その他の老人ホーム	18,530
9	知的障害者施設	16,470
10	国立ハンセン療養所	4,595
11	国立療養所進行性筋萎縮症委託病床	1,854
12	国立療養所重症心身障害者委託病床	6,923
	合計	181,407

資料：1～9については社会福祉施設等調査（平成12年10月1日現在）

7～8については身体障害者手帳所持者数

特別養護老人ホームについては平成9年10月1日現在

10～12については厚生労働省国立病院部政策医療課調べ（10は平成12年5月現在、11～12は平成12年11月現在）

身体障害児(施設在所者)の状況

施設の種別別にみた身体障害児数

(単位：人)

	施設種別	18歳未満
1	身体障害者更生援護施設	35
	肢体不自由者更生施設	1
	視覚障害者更生施設	0
	聴覚・言語障害者更生施設	0
	内部障害者更生施設	0
	身体障害者療護施設	26
	重度身体障害者更生援護施設	2
	身体障害者福祉ホーム	0
	身体障害者授産施設	2
	重度身体障害者授産施設	2
	身体障害者福祉工場	2
	2	盲児施設
3	ろうあ児施設	204
4	肢体不自由児施設	3,900
5	肢体不自由児療護施設	131
6	重症心身障害児施設	1,371
7	知的障害者施設	1,143
8	国立療養所進行性筋萎縮症委託病床	245
9	国立療養所重症心身障害者委託病床	938
	合計	8,115

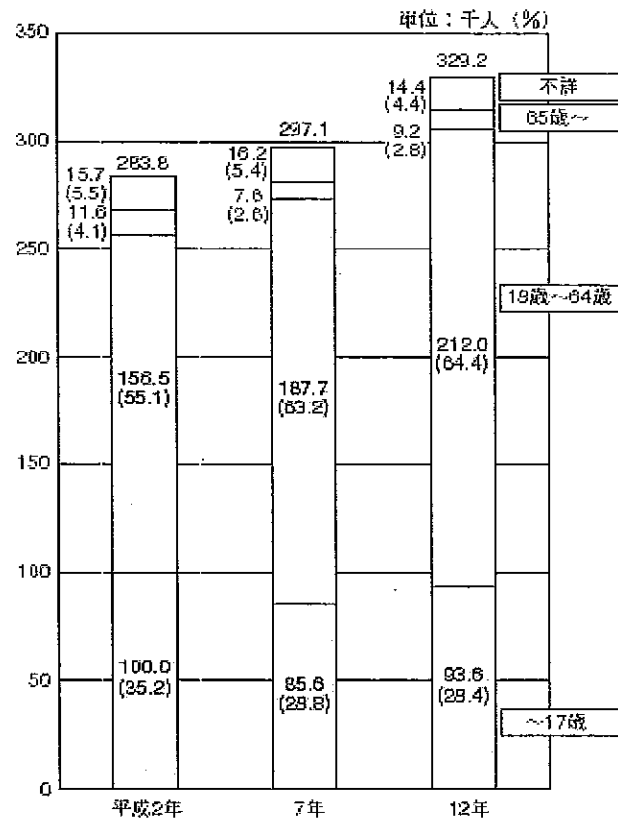
資料：1～7については社会福祉施設等調査（平成12年10月1日現在）

8～9については厚生労働省国立病院部政策医療課調べ（平成12年11月現在）

知的障害児・者の状況

在宅者の状況

年齢階層別障害者数の推移（知的障害者・在宅）



注：平成2年の年齢区分は「～17歳」、「18～59歳」、「60歳～」、「不詳」。
資料：厚生労働省「知的障害児（者）基礎調査」（平成12年）

障害の程度別みた知的障害児・者数

（単位：人、％）

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不詳
総数	329,200 (100.0)	45,500 (13.8)	92,600 (28.1)	77,600 (23.6)	73,200 (22.2)	40,300 (12.2)
知的障害児 (18歳未満)	93,600 (100.0)	17,800 (19.1)	30,700 (32.8)	17,800 (19.1)	18,300 (19.5)	9,000 (9.6)
知的障害者 (18歳以上)	221,200 (100.0)	26,700 (12.1)	59,700 (27.0)	57,400 (25.9)	52,100 (23.6)	25,300 (11.4)
不詳	14,400 (100.0)	1,000 (6.9)	2,200 (15.3)	2,400 (16.7)	2,800 (19.4)	6,000 (41.7)

（注）（ ）内は構成比

資料：厚生労働省「知的障害児（者）基礎調査」（平成12年）

療育手帳の所有状況

（単位：人、％）

	総数	手帳有	手帳無	不詳
総数	329,200 (100.0)	(87.8)	(7.9)	(4.3)
知的障害児 (18歳未満)	93,600 (100.0)	(90.1)	(9.0)	(0.9)
知的障害者 (18歳以上)	221,200 (100.0)	(88.4)	(7.3)	(4.4)
不詳	14,400 (100.0)	(63.9)	(9.7)	(26.4)

（注）（ ）内は構成比

資料：厚生労働省「知的障害児（者）基礎調査」（平成12年）

施設在所者の状況

施設の種別別みた知的障害児・者数

(単位：人)

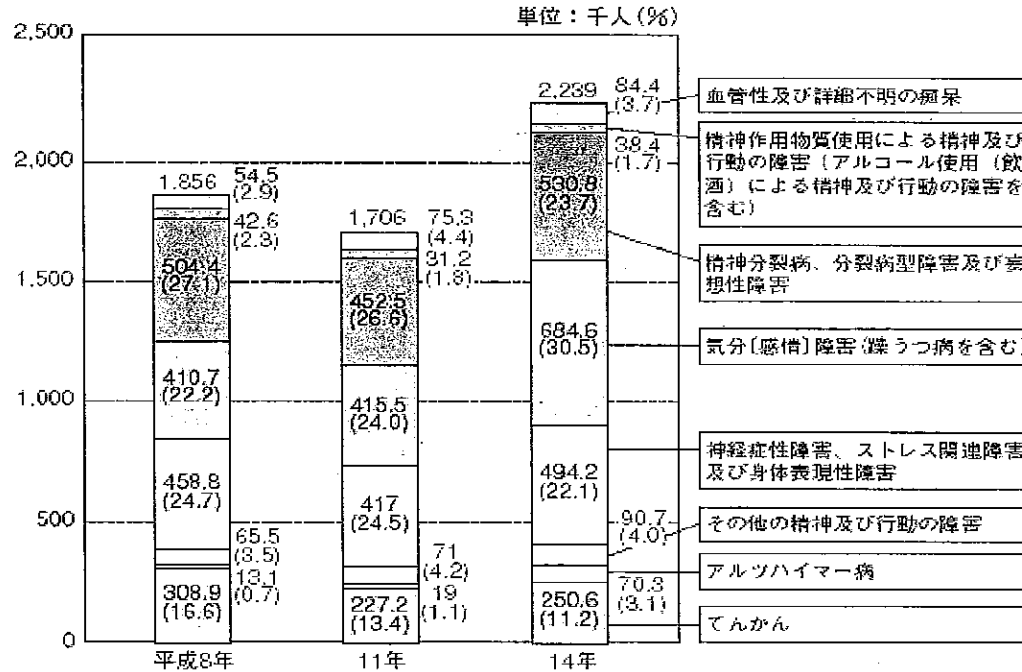
	施設種別	18歳未満	18歳以上
1	知的障害児施設	5,717	6,559
2	自閉症児施設	191	67
3	重症心身障害児施設	1,371	7,951
4	国立療養所重症心身障害児 委託病床	938	6,923
5	知的障害者更生施設	401	85,634
6	知的障害者授産施設	127	13,984
	合計	8,745	121,118

資料：社会福祉施設等調査（平成12年10月1日現在）

4については厚生労働省国立病院部政策医療課調べ（平成12年11月現在）

精神障害者の状況

種類別障害者数の推移（精神障害者・在宅）



注1：疾患者については調査時点のものである。

注2：「精神障害者・在宅」とは外来の精神疾患患者である。

資料：厚生労働省「患者調査」より厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部で作成

精神障害者の精神疾患の種類別推計患者数

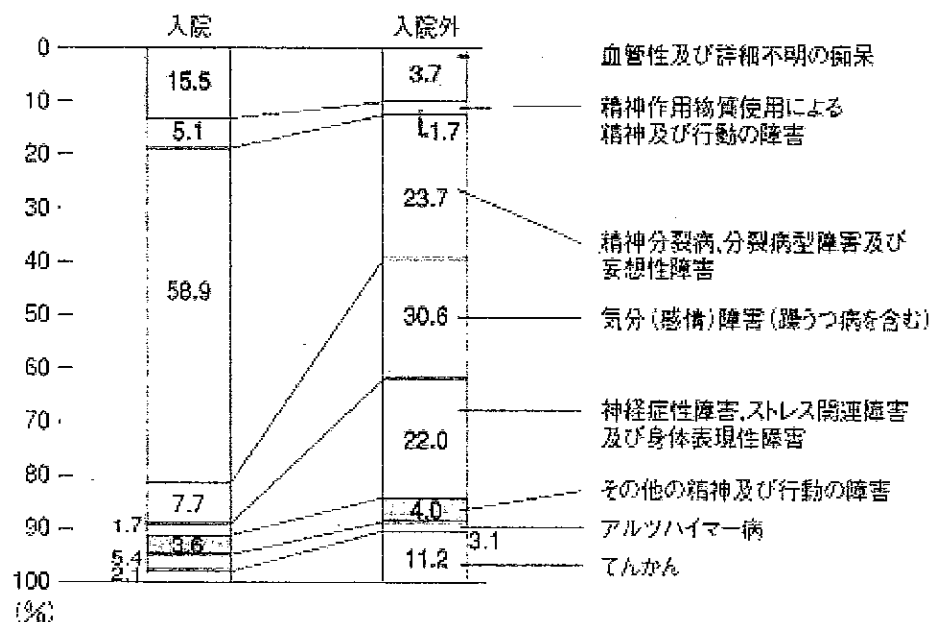
（単位：千人）

精神疾患の分類	総数	入院	入院外
血管性及び詳細不明の痴呆	138	53.6	84.4
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	56	17.6	38.4
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害	734	203.2	530.8
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	711	26.4	684.6
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	500	5.8	494.2
その他の精神及び行動の障害	103	12.3	90.7
アルツハイマー病	89	18.7	70.3
てんかん	258	7.4	250.6
合計	2,581	344.9	2,239.1

（注）精神障害者数は、精神疾患等の患者数である。

資料：厚生労働省「患者調査」（平成14年10月）

精神障害者の精神疾患の種類別構成割合



(注) 精神障害者数は、精神疾患等の患者数である

資料：厚生労働省「患者調査」（平成14年10月）

精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：人)

総数	1級	2級	3級
255,638	58,164	151,641	45,833

資料：厚生労働省精神保健福祉課調べ（平成15年3月末現在）

障害保健福祉部予算の推移

[単位: 億円]

括弧内は対前年度比

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
6,601億円 (+4.1%)	6,659億円 (+0.9%)	6,942億円 (+4.2%)	7,525億円 (+8.4%)	8,131億円 (+8.1%)

注1 予算の主な内訳は、支援費関係、公費負担医療関係、特別児童扶養手当等の手当関係 等

注2 数字は国費ベース。実際の事業費には、地方負担分が加わる。

注3 障害者自立支援法による介護給付費・訓練等給付費は合計4131億円(平成18年度)。